



# ひと花新聞

## 第49号

平成29年8月1日  
 発行 NPO法人釜ヶ崎支援機構  
 ひと花センター  
 〒557-0016  
 大阪市西成区太子  
 1・13・15  
 電話 06-6649-7890

風鈴の音さえ知らぬ 子どもたち(貴和心)

ひまわりの 迷路ではしやく 園児たち(善人)

酒二杯 君を偲ぶよ 星月夜(赤鬼)

墓参り センコウあげれば あの顔が(風鈴)

# ひと花 夏の風物詩



みんなの力で汗を流す



三角公園夏祭りにねふたが光る

暑中お見舞い申し上げます。  
 さて今年も暑い夏がやってきましたね。  
 この季節、恒例行事が目白押しです。  
 炎天下でも元気にメンバーたちは頑張っていますよ！  
 皆夏バテに負けるな！



思いっきり草刈り！梅南スポーツ広場



作業中

毎日毎日暑さが読りやす  
 皆さんお足が悪そうに  
 采るのは大変だろうと思  
 昔年齢を重ねた人生経  
 ですが天候には勝てませ  
 念を付けてボランティア  
 2日に梅南スポーツ広場  
 ネット細い草がツルが巻  
 伸びていました。雑草は  
 負ける訳は口をきかせん  
 なへさん

次回ひと花ゆめひろばは  
 8月19日(土)10時から

子供みこしに参加しました。  
 7月23日・猛暑です。  
 AM9:00.花園公園をスタート  
 こども連がたたく太鼓の音(ヒョウダン  
 ナツツリ)につられて、おっちゃん達が  
 その保護者、関係者、みんな一丸となって  
 釜ヶ崎町を練り歩きます。  
 こども達がたたく太鼓の音(ヒョウダン  
 ナツツリ)につられて、おっちゃん達が  
 振り返ります。その暖かいまじりに  
 何が去来しているのか...頑張れおっちゃん！  
 ワッショイ！ワッショイ！  
 道中、飲み物を差し入れ水エトの方々。  
 ほんまにおおきに！息を吹き返しました。  
 ゴールの太子町まで3時間、みんな  
 頑張りました。年に一度の風物詩  
 来年まで3く！ (はるま)

負バテしてる(はるま)  
 あつさに負けないで  
 頑張ろう(はるま)

ねふた作り (子田雄一)  
 ひと花センターの利国者さん  
 ボランティアの女の子、その他  
 たまたま来られたお客さん等  
 七人でお揃いお揃いの目杓を  
 五角形の和紙に下絵を描き  
 水絵目杓で表現したものを  
 コールームさんから引き継いだ  
 特製の駒形に貼りつけます。  
 昔森や弘前のゆめひろば  
 似そ似つた小形の襦袢  
 一枚の十二枚の個性ある  
 絵柄はこそ選んでよく  
 恐くて...まあ御覧あれ  
 八月十二日土曜日三角公園は  
 やじふの上には飾りまじり

七月三日 冷し中華 春巻 中華そば  
 七月十日 天津飯 冷やし中華 鳥の卵焼き  
 七月十七日 天ぷら定食 煮物 鳥の卵焼き  
 七月二十四日 焼きそば 煮物 鳥の卵焼き  
 七月三十一日 天ぷら定食 煮物 鳥の卵焼き

